

## 平成19年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	子育て女性の在宅ワーク・SOHO支援のPCスキル訓練カリキュラム開発		
法人名	学校法人湘南ふれあい学園		
学校名	総合電子専門学校専門学校		
代表者	理事長 大屋敷 芙志枝	担当者 連絡先	八巻 祐治(やまき ゆうじ) TEL042-744-9711

### 1. 事業の概要

本事業の背景には、家庭生活や他の活動と両立しやすい仕事への転職を希望する女性は相当数いるとみられるものの、実際に正規としての再就職を希望しても容易ではなく、育児を理由に離職した女性は、転職できるまでの期間も長期にわたっている状況がうかがえる。そのような中、育児中で家庭生活や他の活動と両立しやすい仕事への転職を希望する女性を対象に、就業形態の一つの選択肢として「在宅ワーク・SOHO」が注目されている。

本事業では、育児中の女性を対象に「在宅ワーク・SOHO」としての就業を支援するための訓練カリキュラムを作成し、実証を行った。主に在宅ワーク・SOHOに必要なパソコンスキルを習得するための実習講座と在宅ワーク・SOHOの開始・継続を支援するセミナー、さらにビジネススキルと就業の環境作りのための特別セミナーを実施した。

また、対象が子育て中の女性であることから、提携託児所を用意するなど、訓練期間中の託児のためのサポートも実施した。

### 2. 事業の評価に関する項目

#### ①目的・重点事項の達成状況

育児中の女性を対象に、主に在宅ワーク・SOHOに必要なパソコンスキルを習得するための実習講座と在宅ワーク・SOHOの開始・継続を支援するセミナー、さらにビジネススキルと就業の環境作りのための特別セミナーの3つを柱とする訓練カリキュラムを策定し、全42日間の訓練講座を実施した。

全国10万人のネットワーク主婦会員を擁し、女性の在宅・SOHOの支援をしている株式会社キャリア・ママと、システム受託開発などアウトソーシングを業務とし、SOHO事業者を組織化し、起業・SOHOの支援をしている有限会社アベレの両社には、カリキュラム策定から就職支援セミナー及び特別セミナーに全面的なご協力をいただき、そのノウハウより様々なアドバイスを頂き、本講座をすぐれて実践的なものとする事ができた。パソコンのスキルアップについてはスキルチェックテストを実施し、ビジネススキルと早期就業環境づくりに関してはアンケートを実施し、講座の有効性を検証することができた。

#### ②事業により得られた成果

パソコン実習に関しては、スキルチェックの結果、大幅なスキルアップが確認され、各自Webサイトを構築することができた。また、アンケートにより、就職支援セミナーと特別セミナーを通じて、ビジネススキルと在宅ワーク・SOHO事業者に必要な知識・情報を受講生に提供できたことを確認した。

受講生の講座全体に関する評価では、大変役に立つが30%、役に立つが40%で、全体として役に立つと回答した受講生は70%であった。また、修了生のほとんどが、在宅・SOHOに限らず就職活動を開始していることも、再チャレンジ講座の成果として確認できた。

#### ③今後の活用

子育て中の女性対象の訓練講座を実施する上で、貴重な試金石となった。このカリキュラムを何らかの枠組み上で継続して実施する方向で活用を図るとともに、各地方の専門学校で同様な訓練を実施して行く際に、協力し情報提供する。

#### ④次年度以降における課題・展開

次年度以降は、今回の訓練カリキュラムを発展させ、在宅ワークと起業を明確に分離して、それぞれの分野に適したカリキュラムを開発する課題が残されていると認識している。

### 3. 事業の実施に関する項目

本事業では、全42日間に及ぶ訓練講座を実施した。そのあらまは次の通りである。

【実施時期】10月22日～12月21日(土日・祝祭日除く、全42日間)

【1日授業時間】9:25～15:50(50分×6時限)

【受講生】育児中の女性14名中修了者11名

途中退校者:3名(本人体調不良2名、家族の介護1名)

年齢内訳:25～29歳 1人、30～34歳 4人、35～39歳 5人、40～44歳 4人

末子の年齢:0～3歳 5人、4～6歳 3人、7～9歳 4人、10歳以上 2人

【パソコン実習内容】(全216時間)

パソコン基礎(15時間)ワープロ(24時間)、表計算(24時間)、インターネット基礎(12時間)、画像処理(18時間)、

Webサイト作成(96時間)、プレゼンテーション(15時間)、PCリテラシー(12時間)

【在宅ワーク・SOHO支援セミナー】(全12時間)

第1回「自分の適性を知る」(在宅ワークの仕事の内容と適性)

第2回「活用できる支援を調べる」(地元の保育園・託児所実地調査)

第3回「仕事を継続する」(営業用書類の作り方・経理の知識・社会保険)

【特別セミナー】(全18時間)

第1回「就業への心構え」、第2回「子育て支援制度の活用」、第3回「再就職への環境作り」、第4回「ビジネスコミュニケーション1」、第5回「在宅ワーク・SOHOというスタイル」、第6回「ビジネスコミュニケーション2」

【託児所との連携】

近隣の2つの保育所と連携し、入園金と年会費の免除、および、訓練時間に合わせたショート保育時間帯の調整をしていただいた。また、託児費用の一部をサポートした。

【ノートパソコン貸出し】

子供の保育時間の制限で、教室に残って学習ができないため希望者全員に自宅学習用ノートパソコンを貸出した。

【出席率】95%以上100%未満3名、90%以上95%未満7名、85%以上90%未満1名

【就職状況調査アンケート実施】講座終了後毎月3回実施

2月20日(第2回)時点で、修了生11名中10名がアンケートに回答した。

(内訳)

「在宅ワーク・SOHOを準備中」2名、「就職(外に働きに出る)した」1名、「就職活動中である」6名、「働く予定はない」1名であった。